

ちびっこ冒険ひろは"

# ちび"冒通信



第6号 2018年度秋

風が冷たく感じる季節がやってきましたね。周りを見れば葉っぱの色も変わり、下を見ればどんぐりがたくさん落ちています。どんぐり拾いにつられて…森の中に入ったことはありますか？

この季節、森の中に一步入れば、そこは落ち葉のじゅうたんが広がっています。その上を歩く音、足から伝わる感触、転んでもそのまま寝ころびたくなるくらい積もった落ち葉。大人の目から見ればすぐに見渡せてしまう森の中でも、子どもたちにとってはどこまでも広がる世界になります。

大人でもワクワクしてしまう森の中、ついつい『ほら、みんなと一緒にいこう』『どんぐり落ちてよ』など声をかけたくなりますよね。大きな大木に登りたくても登れないでいる姿を見たら、手を差し伸べたくなくなりますよね。でも、その声掛けを…差し伸べる手を…少し待ってみてください。

森へ入るタイミングはそれぞれ違います。駆け出して入って行く子もいれば、入り口で暫く立ち止まっている子もいるでしょう。そして自分のタイミングで森の中に入ったその瞬間から、自らの力で探検が始まっていくのです。自分自身の力で見つけたもの、出来た事は『自分だけの宝物』になります。それを見つけた時の『子どもの笑顔』は、皆さんにとっての『宝物』になりますよ。

風が冷たくて寒い！！そんな時は、どうぞ森の中へ散歩に出かけてみてくださいね。入り口も出口もひとつではありません(笑) 子どもたちがきっと見つけ出して教えてくれますよ。



主催 緑児童館

名古屋市緑区相原郷 2-701 Tel/Fax : 052 - 623 - 9656

<http://www2.odn.ne.jp/midorijidoukan/>

E-mail : m-jidoukan@smile.odn.ne.jp